

ホスピタルストリート

\No.02/
Hospital Street 2022

地方独立行政法人 香取おみがわ医療センターの 役員と部長を紹介いたします。

副理事長・病院長 桑原 憲一

当医療センターは香取市や周辺地域の中核病院として、近年は循環器内科の急性期医療や脊椎脊髄センター等の整形外科専門的医療を中心に、多くの診療科により地域医療を担ってまいりました。地域医療を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、法人化を契機として、その利点を生かしながら減少した常勤医を増やし、提供できる医療の分野を広げ、さらに医療の質を高めて患者サービスの向上を図っていきたいと考えております。また、安心で安全な医療を継続的に提供できるように職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

理事・看護部長 篠塚 信子

看護部の理念は「おもいやり」です。患者さんをご家族が、“当医療センターに来て良かった”と心から思っていたできるように、一人ひとりに寄り添い「おもいやり」のある看護を提供いたします。

理事・医療支援部長 笹本 孝信

医療支援部は医療の中の専門家集団です。日々知識の向上に励み、多職種の力が効果的に組み合わせることで、個別最適化された医療が提供できると考えております。

理事・経営企画室長 瀧口 広

病院経営を積極的に行うために新たに経営企画室が設置され、総合的な企画調整、医師の確保、経営分析、広報等を担当し、より良い医療サービスが提供できるように努めてまいりたいと思います。



左から、松田部長、篠塚理事、桑原副理事長、笹本理事、瀧口理事

監事 伊藤 誠一（伊藤誠一税理士事務所 所長）

私の生まれ育った地域の中核病院の運営に関与できることを大変嬉しく存じます。病院経営も企業経営に変わりなく、会計や税務の専門家として異なる目線で貢献できれば幸いです。

事務部長 松田 博明

昨年までは香取市役所の教育委員会におり、コロナ禍の学校運営に苦勞しておりました。命に直結する病院運営ということで、身を引き締めて業務にあたりたいと思っております。

香取おみがわ医療センターの循環器内科では、心筋梗塞や狭心症のカテーテル治療、また、不整脈のカテーテル治療を行っています。

香取地域の循環器診療を充実させる



内科部長

井上 雅裕

循環器内科

平成11年4月から冠動脈のカテーテル治療を開始し、平成28年からは不整脈のカテーテルアブレーション治療を開始しました。令和元年にはカテーテル装置を一新し、最新のシステムで治療を行っています。カテーテル検査・治療総数は令和3年度で、延べ13,057件となりました。今後も香取地域の循環器診療を担い、その充実を図りたいと考えています。(令和3年度 冠動脈インターベンション：279件、アブレーション：93件)



心筋梗塞・狭心症とその治療



心臓病かも知れないと思ったら早めの受診を

循環器内科

菊池 宏信

心血管カテーテル治療専門医

皆さんは心筋梗塞・狭心症を知っていますか？ 心筋梗塞・狭心症は動脈硬化で、冠動脈（心臓の表面にある動脈）が閉塞したり狭窄したりする病気です。言い換えると心臓に酸素や栄養を送っている大事な血管が詰まったり、流れが悪くなったりする病気です。通常胸が痛くなる症状がありますが、急性心筋梗塞では突然強い痛みが起こり持続します。狭心症では典型的には動くと苦しい、休むと治るという症状がでます。これらの病気は早期の診断・治療が大切ですので、心配な時は遠慮せず、早めに受診してください。また、たぶん大丈夫だろうと考えずに、一度受診することをおすすめします。当医療センターではカテーテル治療の設備があり、診断から治療まで一貫して対応可能です。



冠動脈のカテーテル治療（冠動脈インターベンション）

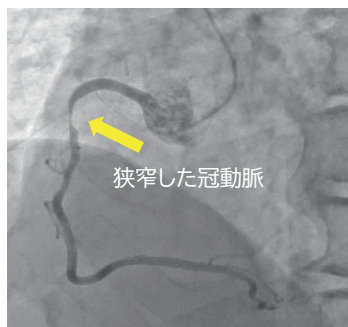
放射線科 副科長

秋葉 秀一

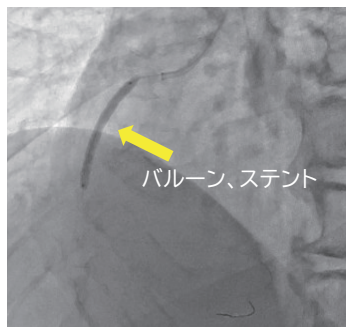
診療放射線技師

心臓の筋肉への栄養血管である冠動脈の内腔が、動脈硬化や血栓により閉塞、または狭窄する虚血性心疾患に対し、冠動脈インターベンションは血管の内腔をバルーンカテーテル（小さな風船）等を用いて広げる治療です。治療は局所麻酔をし、手首や太ももの付け根の動脈からX線透視を見ながらカテーテルという細長い管を冠動脈まで運びます。その管から、冠動脈の狭くなった場所をバルーンカテーテルで内側から拡張した後、ステントという金網の筒で血管を補強します。治療後は薬物療法を併用しますので、生活習慣の改善を含めて医師の指示を守ることが大切です。

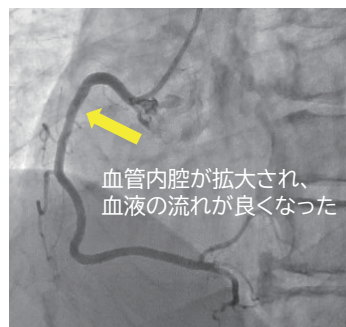
冠動脈インターベンションの流れ



狭窄した冠動脈



バルーン、ステント



血管内腔が拡大され、血液の流れが良くなった



狭窄した冠動脈にワイヤーを通す



バルーン拡張、ステント留置



冠動脈インターベンション 治療後



“急性心筋梗塞の緊急治療を、1秒でも早く開始する”

急性心筋梗塞は、胸痛の発生から2時間以内に十分な血流が再開されれば後遺症が残らないと言われています。カテーテル治療を1秒でも早く開始するため、緊急時には全館放送を用いて医療スタッフを招集しています。

当医療センターには、カテーテル治療のためのワーキンググループ「Code AMI」があり、緊急治療をスピーディーに、そして安全に行うために、多職種でカンファレンスを行っています。

不整脈とその治療

心臓がドキドキしたら



循環器内科

大島 司

心血管カテーテル治療専門医

不整脈は脈が乱れた状態で、脈が速かったり、遅かったり、不規則になったり、それにより吐き気や冷や汗、意識が遠くなるなどの症状も見られます。不整脈には治療の必要がないものから、命に関わるものまでありますので、適切な診断と治療が必要です。薬物療法で治療できる不整脈もある一方で、近年、根治療法としてのカテーテルアブレーション治療が様々な不整脈に対して行われております。薬物療法に比べて治療効果が高い不整脈もあり、そのアブレーション治療は国内だけでなく海外においても確立された不整脈の治療方法となっております。治療介入が遅れると治療効果が減少してしまうこともあり、少しでも動悸や脈の乱れでお困りの方は早めに受診を検討してください。

カテーテルアブレーション治療とは

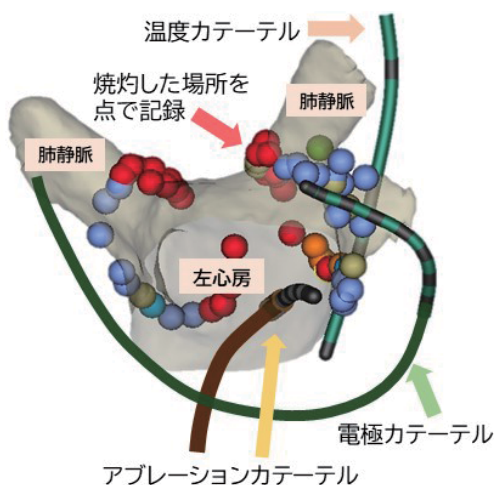
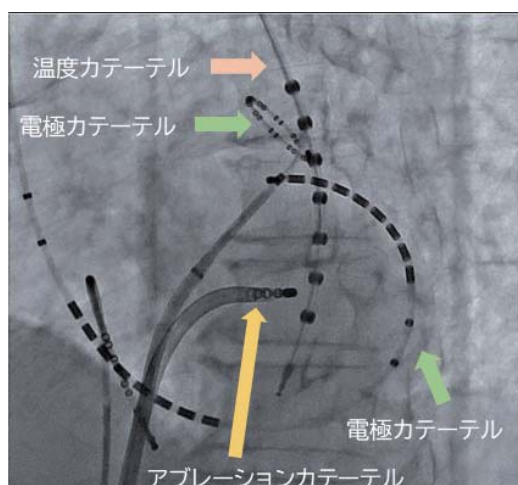


臨床工学科 副科長

木戸岡 智志

臨床工学技士

当医療センターでは主に心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を行っています。治療に要する時間は約2～4時間程度です。治療の流れは、「①左心房までカテーテルを挿入する。②電極カテーテルで左心房の3Dモデルを作成し、同時に左心房内の電気的活動を記録する。③電極カテーテルの電位情報を見ながら、アブレーションカテーテルで不整脈の原因となっている部分を焼灼する。」となっております。主に左心房と肺静脈の接点を焼灼し、肺静脈で生じた異常な興奮が心房に伝わらないようにする肺静脈隔離アブレーションが一般的で、心機能の改善が期待されます。



心臓カテーテル治療の入院生活について

「おもいやり」のある入院看護



東病棟看護科 看護師長

藤原 浩美

心筋梗塞、狭心症、不整脈は、胸痛や呼吸苦などの身体の苦痛に加え、生命に直結する病気でもあるため、患者さんの病気に対する不安も大きいと思います。症状の緩和に努めるだけでなく、患者さんに寄り添ってお話を伺い、十分な説明を行うなどして患者さんそれぞれに必要な看護を「おもいやり」を持って提供しています。心臓の検査や治療は1～2泊の入院で行われます。病棟では患者さん自身が病気を理解して、手術やその後の治療が継続できるように、看護師による生活指導、薬剤師による服薬指導、管理栄養士からの栄養指導など、医療専門職が協力して関わっていきます。



医療を予防の視点で捉え直す「予防医療」

近年では病気になってから治療するのではなく、病気になるのを予防する「予防医療」の需要が高まっています。生活習慣を改善することで健康を目指す1次予防が最も大切とされ、これに加えて2次予防の検診を行い、一人ひとりが自分の健康を気遣うことが大切です。

進む近視をなんとかしよう大作戦

近視はピントが目の近くで合う状態で、眼球が大きい程、目のレンズである水晶体が厚い程、近視が強くなります。眼球は身体の成長と共に大きくなりますので、身体が成長していく10代後半までは近視が進んでいくことになります。「子どものうちに眼鏡をかけたら目が悪くなる」と言われるのは、眼鏡をかけ出す時期と眼球が大きくなる成長期が重なるために、

眼鏡のせいで目が悪くなってしまったように思われてしまうためです。水晶体のための近視予防が大切で、スマートフォンやゲーム等、近くでの作業時間が長いと水晶体が常に緊張した状態になり近視が進む原因となります。姿勢を正しく、30分に1回20秒は休む、瞬きをするなどが有効です。日本眼科医会の近視予防のホームページもご参考にしてください。



視能訓練科 上席主任技師
木戸岡 喜恵
視能訓練士



日本眼科医会 子どもの目・啓発コンテンツについて

新着情報

◆七夕飾りを行いました(患者サービス向上委員会)

七夕飾りに様々な願いを込めて

手術科 看護師 高橋 佐和子

新病院となって初めてとなる七夕飾りを行いました。小さな笹ではありますが、患者さんや職員が作った華やかな飾りに加えて、「元気で退院できますように」、「家族の幸せ、世の中の平和をお願いします」など、願いを込めた短冊が数多く見られました。皆さまの願いはきっと天の川に届いたことでしょう。



◆患者満足度調査を実施(患者サービス向上委員会)

利用される皆さまからの香取おみがわ医療センターに対するご意見やご要望を把握し、今後の医療サービス、患者サービスの改善や医療の質の向上を図るために、患者満足度調査を7月に実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

◆看護学校生が香取市民レガッタへ参加

3年ぶりに開催された大会に、香取おみがわ医療センター附属看護専門学校生が参加し、猛暑の中で奮闘し、熱い汗を流しました。

地方独立行政法人
香取おみがわ医療センター

TEL 0478-82-3161 (代表) FAX 0478-83-3032
〒289-0332 千葉県香取市南原地新田438番地1

休 診 日 土曜・日曜・祝日・年末年始
診療受付 平日8時から(予約が必要な診療もあります)
診療科により診療時間は異なりますので、詳しくは
ホームページ等でご確認ください。
<http://www.hospital.omigawa.chiba.jp/>

